

コロナ禍が学校に投げかける問い合わせ

昨年4月より大森第十中学校に赴任しました、副校長、曾我竜也といいます。前任校は南六郷中学校です。副校長となり、大田区は4年目となります。宜しくお願ひいたします。

さて、新型コロナウイルス感染症に伴い、学校は3月から臨時休校となり、在校生不在の中、3年生のみで卒業式が行われました。4月、新年度を迎えたものの、再開の兆しではなく、入学式は延期となり、生徒は自宅学習、教員も在宅勤務が続くといった2か月を経験しました。

6月、学校再開の通知が教育委員会から届きましたが、6月1日から19日までは分散登校となり、全校生徒が一堂に会したのは、6月22日（月）のことでした。その間、入学式（6/8）が実施されましたが、来賓、在校生の参加はなく、新入生と保護者1名のみの実施形態となりました。初めて会う新入生は、全員がマスク着用のため、素顔を見ることができない中での入学式でした。このように、コロナ禍により、誰もが経験しない異例の3ヶ月を過ごしてきました。

コロナ禍は私たちに多くの問い合わせを投げかけてきます。その問い合わせにより私たちは、今まで無意識・無自覚だったことに気付かされています。その中の一つは学校の価値です。臨時休校となり、当たり前だった日常が失われたことで、そもそも学校は何を担い、何を守り、何を育んできたのか、改めて顕在化してきました。学校は狭い意味での「教育」に留まらない「福祉」的な価値（例えば健康的な生活リズム、児童・生徒の安全な居場所等）も担っていることが浮き彫りになってきたと感じています。

コロナ禍に限らず、今後の「予測不可能な未来社会」を自立的に生きる力を育むためには、学校や教育行政だけで全てを解決することは困難な状況です。多様な児童・生徒を誰一人取り残さないためには、学校が地域社会とこれまで以上に連携・協働し、多様な専門職等も含めた「チーム学校」として、それぞれに必要な学びを確保できるようにすることが必要と考えています。

（大森第十中学校副校長・曾我竜也）

○令和2年秋の叙勲：瑞宝双光章 森井 郁夫
○大田区自治会・町会正副永年在職感謝状（20年以上）
田中 英雄 海老澤 信吉

○経済産業省統計調査功労統計調査員感謝状 江崎 洋

○民生委員・児童委員厚生労働大臣特別表彰

田中 恵子 阿部 理子

○全国民生委員児童委員連合会永年勤続退任民生委員・児童委員表彰
田中 恵子 阿部 理子

門倉 友子 永久保 るい子 田中 恵子

阿部 理子 森井 恵美子

（敬称略）

縄文の人が住んだ雪ヶ谷貝塚

朝夕に「るる」という11歳のトイプードルと散歩をする。生まれ育った雪谷を歩くと、雪谷には縄文時代から人が住んでいたと知った。

平成12年（2000年）、団塊世代の私たちに馴染みの深い「いすゞのテニスコート」の跡地にマンション建設が始まり、縄文人の雪ヶ谷貝塚が発掘されたからだ。

雪ヶ谷貝塚の存在は古くから知られていて、明治時代、貝塚の傍の円長寺の当時の住職、飯田東臯氏も参加して小規模な発掘が行われた。平成12年には、31軒の堅穴住居の集落跡や土坑（墓）、縄文前期（約6000～5000年前）の土器が発掘され、ムラが存在していたことを知る遺跡として学術的にも注目された。

貝塚があった場所は、多摩川の東に広域平坦に広がる雪谷台地の東南の端である。現在、貝塚跡地の南の坂下に水神公園がある。縄文の人は、豊かな水が湧き、東には呑川が流れ、南に久が原台地を望む日当たりが良いこの場所を住居地として選んだことがわかった。

縄文の人たちは何を食べていたか。栗やどんぐり、山芋を食べていたが、貝塚に残る貝種はハマグリが圧倒的に多かった。

約10000年間続いた縄文時代は、地球の温暖化の影響により海進（海面上昇）が進み、海の貝が採れるようになったようだ（現在は呑川の河口から7キロの場所）。火を起こし煮炊きが始まったことで、彼らは貝の殻を開けることができた。稻作が始まる前、縄文の人は自然界から食べ物を採取していた。「美味しいものを食べていたんだ」とわかった。

私たちの先陣として雪谷には縄文時代から人が住んでいたのだ。家が隈なく地面を覆う現在の坂や高台から、つい、縄文時代の風景を想像してしまう。そして、ハマグリを味わう雪谷在住の縄文の人たちに親しみを感じた。

参考資料：『雪ヶ谷貝塚—縄文時代前期の文化と環境』（大田区立郷土博物館）
(南雪谷・藤原 瑠美)

＊編集後記＊

令和3年初春です。本紙も目出たく30年目を迎えました。自治会活動に参加して、地域の輪を広めて知った沢山の地元のヒーローさん。今号も心強い地域の支え手さんの方々が原稿をお寄せ下さいました。縄文の昔から続く我らが先祖の強力なDNAで、コロナを吹き飛ばし、来たる東京五輪・パラリンピックの祭典を世界に向けて発信できますように…。本年も皆さまのお幸せを編集一同、お祈り申し上げます。

（池の台・柏 三八子）

【編集委員】

笹丸・小久保 衡子／雪谷石川台・倉田 清子／南雪谷・河野 洋一郎／
東雪谷東中・秋山 一雄／池の台・柏 三八子／小池・原 龍興／上池上・船山 康夫

ふれあい雪谷（創刊・平成2年12月20日）年4回発行

（1月・新年号／4月・さくら号／7月・あさがお号／10月・もみじ号／の1日発行）

【発行日】令和3年新年号 1月1日（通巻・第121号）発行

【発行】地域力推進雪谷地区委員会【編集】ふれあい雪谷編集委員会

【連絡先】大田区地域力推進部雪谷特別出張所

〒145-0065大田区東雪谷三丁目6番2号 ☎3729-5117 FAX3729-1826

地域情報紙

ふ・れ・あ・い
雪 谷

令和3年1月 新年号 通巻第121号



東雪谷東中・中野 木波



「ふれあい雪谷」のホームページ
はこちらからご覧いただけます。



あ、それ振り込め詐欺!!

その出来事は、昨年8月半ば、猛暑の夏下がりに起こりました。

私が希望ヶ丘商店街にあるM銀行ATMコーナーに現金を引出しに行った時の事です。

私の前に4人程女性が並んでいました。ふとATMを見ると中年の女性がスマホを片手にATMの操作をしながらやら話をしています。不審に思い失礼を顧みず画面をのぞくとまさに振込の画面、咄嗟にこれは振り込め詐欺だと直感して、当該女性の肩をたたき操作を中止するよう手で合図をしてコーナーの外に誘導し事情を聞いたところ、次の様な内容でした。

大田区の職員を名乗る男性から電話があり医療費の還付金がある⇒取引銀行を聞かれ、M銀行と回答。その後M銀行行員を名乗る別の男性から入電あり、支店では還付手続が出来ないので希望ヶ丘商店街にあるM銀行のATMコーナーに2時に時間指定で行くように…。女性が2時にATMコーナーに行くと、スマホに入電があり、確認の為と言われ操作を開始した。言われるままに操作をしていたらいつの間にか振込の画面になっていたのでとまどっていたところ、私の手合図で操作を中断したものです。コーナーの外で話を聞いている間も犯人から執拗にスマホに入電があり、スマホの応対を拒否させ、警察に届ける事を勧めて石川台交番に同行し、警察官と担当刑事さんに本件の顛末を説明した次第です。

私的な感想ですが、ATMコーナーで後に並んでいる人達は何かおかしいなと思ったら、一声かける勇気をお願いしたものです。

たまたま私が銀行OBだったためすぐに異変を察知でき、失礼ながら強引に操作を中断誘導したため、数十秒遅ければ多額のお金を詐取されるところを未然に防げた事、お役に立てて何よりです。

最後になりますが「還付金」等の連絡は決して電話ではありません。役所からは必ず文書で案内されます。

(雪谷石川台・浅野二三夫)



在宅中でも留守番電話にして、相手を確認しましょう！



振り込め詐欺は、一本の電話から。
親族、警察官、区役所、銀行…
相手に聽かれても、ご自身の資産、
キャッシュカード、取引銀行などの
情報は教えてはいけません。
ATMで医療費や保険料の払い戻し
の手続きはできません。

もし電話に出てしまったら
田園調布警察署へ通報
03-3722-0110

「太鼓衆 龍月」との出逢い

吹奏楽とオーケストラに打ち込んでいた学生時代から早20年、久しぶりに音楽をやりたいという衝動に突き動かされたのが今から5年前。蒲田のライブハウスで聴いた一打に魅せられて以来、生活の中心にドンドコと太鼓のリズムが流れる毎日です。

「太鼓衆 龍月」は2011年に活動を開始した、蒲田を活動拠点とする和太鼓団体です。大田区には沢山の和太鼓団体・サークルがありますが、その中でも龍月は“曲打ち”という、音楽に合わせてリズムをアレンジしながら演奏するスタイルを得意としています。曲のジャンルも邦楽洋楽問わず多岐にわたり、レパートリーは100曲近くあります。少人数の団体ですが、娘もメンバーとして所属しており、週末には親子で練習に励んでいます。

ライブハウスでの自主公演以外に、東調布公園や蒲田駅前でのイベント、山梨や千葉の太鼓祭りに参加するなど、年間通して忙しく活動していましたが、昨年はコロナ禍でほぼ演奏の機会を失っていました。今年は100倍返して！演奏を披露する機会を積極的に求めていきたいと地力を蓄えています。

「太鼓衆 龍月」を見かけたら、ぜひ声を掛けて下さい。
YouTubeで過去の演奏風景も公開しています。2021年、皆さんと新たな出逢いが生まれますように！

(笹丸・佐藤 新治郎)

大田区民として生かされた60年

私が山口県大島郡から上京して大田区に住み始めたのは1960年で地名の呼称を上池上と云っていた頃からである。何と大田区在住60年になるが、元来、仕事人間だったので朝6時半に家を出て1時間半かけ勤務先である埼玉県の上尾に行き、自宅に帰るのは夜9時過ぎで、家には寝に帰るのみの生活であった。67歳で退職し「サンティー毎日」になったので、家の周りで出会う人に挨拶する人がいないことに気付き愕然としたことが忘れられない。

私は学生の就職指導の仕事をしていたので、来校者の応対と学生指導に追われ勤務時間が終わってから本来の事務的な仕事をして遅くまで職場にいることになった。そのため退職した時は、疲れ果てて何もする気にならず呆然と過ごしていたが、秋頃にこのままでは人間失格になると思い大田区の教育委員会が主催する「地域と教育講座」で学び、地域に奉仕するきっかけと仲間ができた。

根が人間好きの私は2011年より地域の子どもを我が家に集めて子育て支援を始めることになった。ここで「地域と教育講座」を学んだ仲間が生きることになった。みんなと相談し名前を「ほっとスペースじいちゃんち」と命名、子育て支援が始まった。2018年6月までの7年間、380組の親子が我が家を訪れた。これで疎遠になっていた地域の方々との関係ができる本当に良かったと思っている。

(池の台・岡村 紀男)

囲碁将棋 思い出すままに

昨年は春先から、コロナウイルス騒ぎ、夏は猛暑・大雨と落ち着かない日々を送りましたが、藤井聰太棋士が最年少として棋聖王位を獲得、将棋愛好者ならずとも一抹の清涼剤になりました。

私は平成30年4月、小池自治会囲碁将棋会に入会しました。将棋は昔の事で、指す機会は無いものと思っていたので今は楽しい時間を持ち、お陰さまで元気をいただいています。

現在新型コロナウイルス禍で残念ですが囲碁将棋会は休会中で、入会して一年足らずでボッカリと穴があいたような気分です。将棋駒を初めてもったのは終戦直後の昭和21年の夏、小学校5年生の時でした。家は路地の一番奥にあって、夕方になると涼を求めて隣近所の人が集まってきた。玄関先に縁台が置かれ家の中まで将棋盤が並び賑やかで、先生は隣の大工の小父さんで散々しばられました。“オソイサッサと指せ” “ネティルノカ” 駒を動かせば“ナンダソノ手は” 等々涙ボロボロです。現代でしたらパワハラ問題です、そんな毎日でしたが夏休みの終わり頃にはやっと勝てました。「王手飛車取り」を指し小父さんの王様を取りました。負けた小父さんは「ニコニコ」笑顔でした。その笑顔は今も忘れることはありません。

小池自治会館で月2回土曜日の午後囲碁将棋会を開催し、小池小学校でも放課後出向き、未来の藤井聰太棋士を目指す子ども達を指導して、此方も元気を貢っています。

15歳から始めた囲碁はまだ別の機会に・・・

(小池・戸村 保市)

災害などのときは消費者トラブルに注意

近年、台風や新型コロナウイルスといった災害等の発生に伴つた消費生活相談が、多く寄せられています。慌てて契約してトラブルになったり、災害に便乗した悪質商法も発生したりします。勧説をうのみにせず、契約の際は慎重に判断しましょう。

契約トラブル回避心得4箇条！

- 1 「安くなりますよ」などという言葉に惑わされない。
- 2 「今なら無料」「今すぐ修理」という文句に急かされない。
- 3 難しい契約内容でもきちんと説明してもらい理解する。
- 4 その商品やサービスが必要であるかを検討する。

また、行政機関になりすまして、給付金や義援金などを口實に、個人情報や現金をだまし取ろうと災害に便乗した詐欺にも注意しましょう。行政機関の職員が各戸に電話（あるいは訪問）し、義援金を募ったり個人情報を聞き出したりすることはありません。トラブルが生じたときや疑問に思ったときは、ひとりで抱え込みます、まずはお気軽に消費者生活センターへご相談ください。

相談専用電話 3736-0123 受付 午前9時～午後4時30分まで
土・日、祝日、年末年始は休みです。土・日、祝日は国・都の機関で受付 消費者ホットライン「188（いやや）」